

「大学生のためのお金の教室～起業を考えています！」

ファイナンシャル・プランナー 江尻 正幸

就職活動中の大学生にとって、この時期はとても慌ただしく、重要なシーズンですね。志望企業から内定を獲得するために、会社説明会参加はもちろん、OB訪問やES提出、面接の練習など、様々な準備を行っていることでしょう。

一方、卒業後すぐに、もしくは数年後に起業することを検討している学生の方もいらっしゃるでしょう。

今回は、そのような方からの相談事例を取り上げます。

【質問】

現在、就職活動中の学生です。

3年ほど社会人経験を積んだ後、起業しようと考えています(業種等は未定です)。

その際、資金を調達するには信用保証協会などを活用することが一手だとインターネットで知りました。

具体的には、どのようなものがあるのでしょうか？

また、注意点はありますか？

(秋山さん 21歳 大学3年生)

【回答】

まず、信用保証協会を活用した融資には以下のようなものが挙げられます。

制度名	融資対象	融資限度額	資金使途・貸付期間	保証人・担保	利率(年利)
創業融資 (東京都 制度融資)	① 創業予定	① 1,000万円	運転:7年以内	法人:	貸付期間・ 形態によ る。
	② 創業から 5年未満等	② 2,500万円	(据置期間12カ月以内) 設備:10年以内 (据置期間12カ月以内)	原則、代表者 個人: 原則、不要 物的担保: 原則、不要	
創業支援融資 (新宿区制度融 資)	①創業予定	① 1,000万円	運転・設備7年以内	金融機関との	2.1%以下
	②創業から 5年未満等	② 2,000万円	(据置期間12カ月以内含 む)	協議による。	本人負担: 0.7%以下

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

(2012年1月25日現在の情報をもとに、筆者作成。詳細は下記 URL 参照。)

●利用する際のポイント、注意点は・・・？

このような融資を活用する際、次のような注意点があります。

【事業内容】

まず、**どのような事業を行うか**ということです。

現在、業種等は未定ということですが、申し込みを検討している制度融資対象外の業種・業態ではないかを事前に確認しておきましょう。

【事業計画】

また、**事業計画**の策定・提出を求められるケースが多くあります。

それが実現不可能なものではないか、注意が必要です。

夢を大きく抱くことは大切ですし、私自身も20代で独立しているので気持ちはよくわかります。

しかし、融資の利用を考えているならば、夢物語のような事業計画は心の中に留め、提出する事業計画には地に足の着いた実現可能な内容を記載しましょう。

また、売上や利益の裏付けとなる書類等があるならば、それらを示す備えも忘れずしておくべきと言えます。

【定期収入】

上記の点に関連しますが、**定期収入の有無**もポイントです。

やはり、事前に定期収入や、まとまった売上・利益を得ることが出来る取引先を確保しておくならば、融資する側を安心させることにつながることは容易に想像できます。

【会計知識】

さらに、秋山さんご自身は**会計に関する知識**を有しているでしょうか。

融資を申し込むかは関係なく、起業するならば、会計に関する知識を学んでおいた方がベターです。

【自己資金】

自己資金についても考えておきましょう。

普段の生活費はいくら必要か、最悪でもどれくらいの期間、売上がなくても生活が出来るかを把握し、備えておきましょう。

また、起業前に自動車や住宅などを購入し、ローンを組もうと考えているならば、その返

済や維持費なども踏まえた自己資金を準備する必要があると言えます。

他にも考慮すべき点は多くあります。

不明点や確認したい事項は、FPやその他士業、また信用保証協会や金融機関に相談するようにしましょう。

参考 URL

東京都信用保証協会 <http://www.cgc-tokyo.or.jp/index.html>

新宿区 <http://www.city.shinjuku.lg.jp/index.html>